

第54回 多摩市新型コロナウイルス感染症対策本部会議【結果】

令和4年5月24日(火)
経営会議終了後
議 場

<検討事項>

- 1 5月23日以降の取り組みについて
- 2 住民税非課税世帯給付金担当・ワクチン4回目の応援について
- 3 ワクチン接種について

検討事項1 5月23日以降の取り組みについて

1 概要

5月22日をもって「リバウンド警戒期間」が終了したが、これまでの対応と大きく変わるところはない。

(1) 区域

都内全域

(2) 対応の概要

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、5月23日以降、以下の要請、協力依頼を実施

① 都民向け

- ・ 基本的な感染防止対策の徹底
- ・ 感染を拡げないための行動 等

② 事業者向け

- ・ 業種別ガイドラインの遵守
- ・ 催物（イベント等）の開催制限 等

2 詳細

別添資料1及び2のとおり

◆市としての対応

以下の件などについて、課長会、施設担当課長会で対応を検討

- ・ 組織としての対応方針
- ・ 消毒の実施
- ・ マスク着用に関する市としての見解

検討事項2 住民税非課税世帯給付金担当・ワクチン4回目の応援について

<背景>

◆ 住民税非課税世帯給付金担当

① 現状

- ・ 令和3年度2月開始の臨時特別給付金支給事務が継続中
- ・ 新たに令和4年度の臨時特別給付金支給事務が開始
- ・ 新たに家計が急変した世帯の申請受付も開始

② 課題

- ・ ひきこもり対策の居場所づくりなど、既存の業務も数多く課題が残存
- ・ 所管課の現行体制では、迅速かつ的確な事務の実施が困難

◆ 新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）

① 現状

- ・ 新型コロナワクチン4回目接種の実施が決定
- ・ 3回目未接種の市民に対する接種の促進を実施中

② 課題

- ・ 国の制度設計を報道で初めて知るなど、常に情報遅延が発生
- ・ 市民に対して迅速かつ正確な情報提供をする必要性

1 業務の概要

(1) 住民税非課税世帯給付金

① 事業内容

令和3年度に実施した住民税非課税世帯給付金の第2弾として、コロナの長期化や物価高騰を受け、令和4年度に新たに住民税が非課税となった世帯を対象にプッシュ式で10万円給付

② 対象世帯

約2,000世帯

③ 事業開始時期

令和4年6月1日

※ 国より支給要綱等は、6月1日発出予定であるが既に準備が始まっている状況である。

(2) 新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）

① 事業内容

3回目接種の完了から5か月以上が経過した60歳以上の方及び18歳以上60歳未満の方のうち、基礎疾患を有する方その他新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める方

② 対象人数

全体で約5万人想定

- ③ 開始時期
60歳以上の対象者：令和4年6月8日から順次発送
- ④ その他
事務従事職員を選出した所属に対し、人事課より会計年度任用職員の任用について支援を行うことは可能とする。

2 応援の実施体制

(1) 給付金

- ① 応援手法
事務従事職員として、福祉総務課給付金担当へ2名配置
- ② 期間
6月・7月の2ヶ月を想定し、可能な限り事務従事者は期間中同一の担当者とする。(2ヶ月間事務従事)
なお、長期で依頼したいところではあるが、その期間は各所属の実情に合わせ、柔軟な対応も可能とする。
- ③ 執務場所
第2庁舎1階作業室3

(2) ワクチン・給付金

- ① 応援手法
ワクチン及び給付金業務に関する「広報・周知・契約」等に関して、通常の組織編成の中で支援
- ② 期間
当分の間
- ③ 執務場所
職員の所属課を想定しつつ、必要に応じて、関係課と調整しながら業務を行う。

3 応援体制（班編成）

(1) 事務従事（給付金に関する業務）

- ・ 3月まで事務従事にて応援いただいていた班編成を活用する。
- ・ 編成のマイナーチェンジし、1班に福祉部を編入して総務部を削除する。
- ・ 1班・2班から各1名を選出（合計2名）
- ・ 3班以降は、次の支援があった場合に従事する。

班	
1班（議会・企画・福祉）	} 事務従事者選出
2班（市民・くら文）	
3班（子ども・都市・下水）	} 今後、応援体制を組む時には、選出をお願いします。
4班（環境・教育）	

(2) 業務分担（ワクチン・給付金に関する広報・周知・契約）

- ・ 総務部にて担う

検討事項3 ワクチン接種について

1 これまでの接種状況

(1) 総括表

新型コロナワクチン接種の状況
(令和4年5月17日時点 ※1)

【初回接種】	65歳以上 (42,863人)	64歳以下 (92,474人)	12歳以上全体 (135,337人)
1回目接種率	93.9%	85.4%	88.2%
2回目接種率	93.7%	84.8%	87.7%
【追加接種】	65歳以上 (42,863人)	64歳以下 (92,474人)	12歳以上全体 (135,337人)
3回目接種率(市)	87.9%	59.5%	68.6%
3回目接種率(国)※2	88.5%	未公表	62.3%
3回目接種率(都)※2	86.6%	未公表	61.5%

※1 令和4年5月17日時点でワクチン接種記録システム(VRS)に登録済みの速報値

※2 国・都の3回目接種率は令和4年5月17日時点の公表値

(2) 年代別接種状況

年代別初回接種状況 (令和4年5月18日現在※1)					
【初回接種】	接種対象人口※2	1回目接種者数	1回目接種率	2回目接種者数	2回目接種率
12歳～19歳	10,096	7,707	76.3%	7,614	75.4%
20歳代	14,582	12,367	84.8%	12,191	83.6%
30歳代	16,254	13,177	81.1%	13,046	80.3%
40歳代	23,029	19,210	83.4%	19,094	82.9%
50歳代	20,577	19,126	92.9%	19,040	92.5%
60歳～64歳	7,936	7,418	93.5%	7,400	93.2%
65歳以上	42,863	40,519	94.5%	40,398	94.2%

年代別追加接種状況 (令和4年5月18日現在※1)			
【追加接種】	接種対象人口※2	3回目接種者数	3回目接種率
12歳～19歳	10,096	3,186	31.6%
20歳代	14,582	6,824	46.8%
30歳代	16,254	8,468	52.1%
40歳代	23,029	14,121	61.3%
50歳代	20,577	15,763	76.6%
60歳～64歳	7,936	6,662	83.9%
65歳以上	42,863	37,768	88.1%

2 4回目接種の実施要領

(1) 実施機関

令和4年6月3日(金) (主に医療従事者)～9月30日(金) (予定)

※一般本格実施は、6月22日(水)開始

(2) 対象者

3回目接種の完了から5カ月以上が経過した以下の方(全体で約50,000人想定)

- ① 60歳以上の方
- ② 18歳～59歳で基礎疾患などがある方

(3) 接種場所

- ① 集団接種会場※聖蹟桜ヶ丘会場及び永山会場は令和4年8月末まで実施予定

◆ 聖蹟桜ヶ丘接種会場

関戸1-10-1 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターC館2階) 【新規】

◆ 永山接種会場

永山2-1-7 JTB フォレスタ4階

◆ 多摩センター接種会場

落合1-32-1 多摩センターペペリビル5階

※多摩センター接種会場は1・2・3回目接種も実施

- ② 市内個別医療機関

- ③ 東京都大規模接種会場

※多摩センターペペリビル6階は5月末で終了

(4) 予約方法

- ① 60歳以上

接種日時・会場・使用ワクチンを市で事前指定し、接種券を送付

- ② 基礎疾患などがある方

接種券発行の申請が必要、接種券が届き次第予約可

3 今後の1～3回目接種について

- (1) 1～3回目の接種会場

多摩センター接種会場

※永山及び聖蹟桜ヶ丘は、4回目のみ実施

- (2) ノババックス社製ワクチン

7月初旬に3回目接種用で使用予定(約1000回分)

※たま広報6/20号で周知

4 詳細

別添資料3のとおり

各部からの情報提供

▼ 市内感染状況

別添資料4のとおり

本部長指示

- ・ 必要な対応は、しっかり実施していく。
- ・ 指定感染症の2類相当を変更しなければ対応は変わらない。
- ・ 今後は、過度な消毒、滅菌などによって子どもたちの免疫力が低下するのを防ぐことも必要
- ・ マスク着用の同調圧力がある中、どのようにしたらマスクを外していけるか検討が必要